

元気な学校図書館プロジェクト主意書

情報社会の進展に伴い図書館は社会的な装置として、その整備や活用が求められています。反面、現在の日本国内における公立図書館や専門図書館の利用は他の先進国と比較すると必ずしも十分とは言えない状況にあり、図書館の積極的な利用及びさらなる環境整備及び住民の理解が求められています。現在の図書館の課題は、人、資料、予算と様々な要因があるとされており、中でも学校図書館は、一般国民は直接利用できないため、理解しにくい面もあると考えられます。

株式会社富士通システムアプリケーション&サポートは、長年にわたって学校図書館や公立図書館を情報システムの構築という点からサポートしてきました。

ICT事業活動を通じて学校図書館や公立図書館に関わる中で、これらの活用を促進していくことが、現在の日本社会にとって最重要であると考え、それを支援するプロジェクトを行うことを思い立ちました。このプロジェクトにより、弊社は金銭的な利益を得ることはありませんが、日本全体における図書館の利用が活性化されることにより、弊社の社会的な役割を果たすことができ、現在弊社が関わっているICT事業も活性化されることに繋がっていくと考えます。

プロジェクトの具体的な内容は、図書館団体や地方自治体の協力を得ながら、国内で活発かつ参考となる活動をしている学校図書館を取材し、その状況や関係者の考えや思いをまとめ、それを弊社が特設したホームページから文章、画像、動画により発信することとしています。特に公立図書館、学校図書館、地域の様々な団体が相互に連携している事例は、有効であると思われるため、このような学校図書館及び連携先については特に積極的に取材していきたいと考えています。

将来的には学校図書館の取材・発信に続いて、公立図書館の有効事例についても対象としていくことを検討していきます。また、プロジェクトを進めていく上で図書館有識者や研究者からの助言も受けながら、より多角的な視点や深層の課題について把握、発信を行う予定です。

このプロジェクトにより、日本における図書館の活動を広く国民および図書館関係者に紹介し、そのことによりひとりでも多くの住民が図書館への理解を深め、図書館の活用が進むことにより、ひいては地域の活性化に繋がることを期待しています。

元気な学校図書館プロジェクト

目的：学校図書館に関わる活動事例を取材し、記事をWebサイトにて公開することで関係者の情報共有をすすめ、発信力のある「元気な学校図書館」を作り出す。

取材方法：

調査員の訪問による取材、記事作成や映像撮影

事例取材



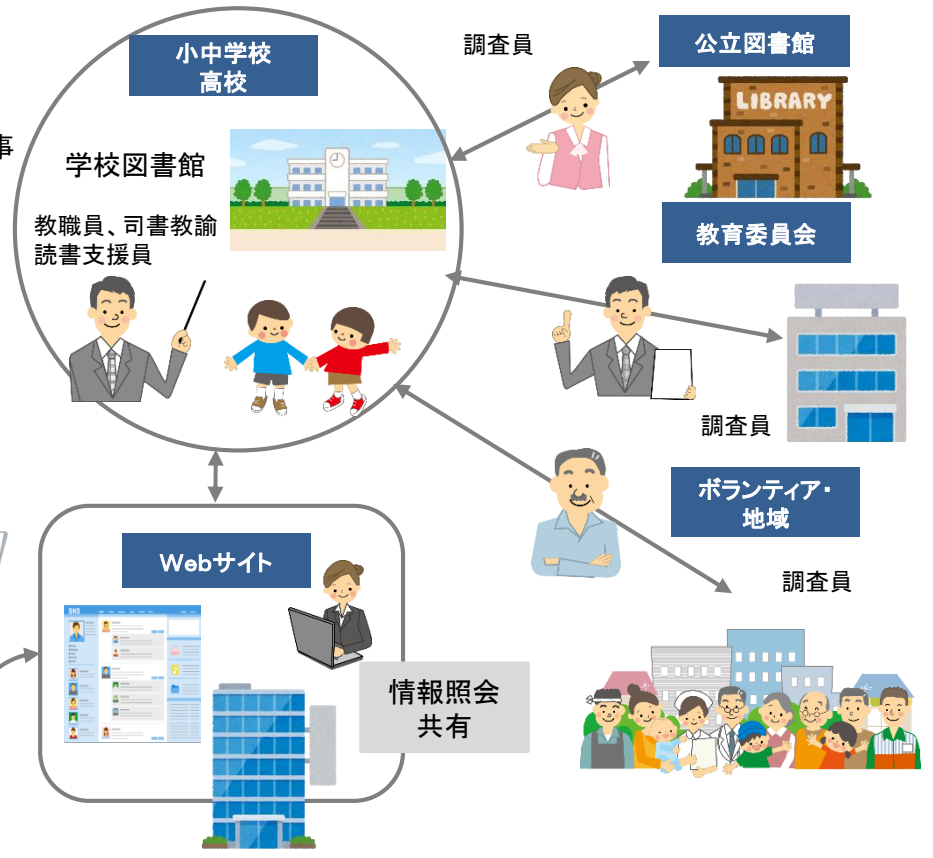
パソコン

スマホ

タブレット



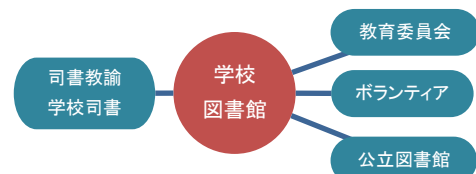
インターネット



取材先とその概要

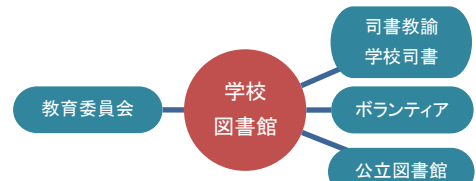
A. 学校直接取材(司書教諭、学校司書)

- ・学校図書館を訪問し、司書教諭や学校司書から聞き取り・映像取材。
- ・視点は、学校図書館を支える人や資料(図書)面、環境面を記事化
- ・学校の教育目標や読書教育、推薦図書、郷土教育資料等を掲載



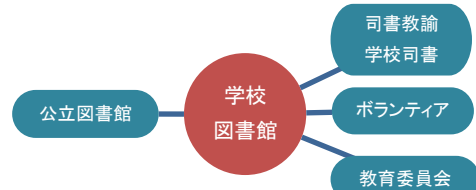
B. 教育委員会取材(市町村教委・県教委)

- ・教育委員会の学校教育部門を訪問し、学校図書館の行政施策を取材。
- ・視点は、学校図書館の整備計画や学校司書(読書支援員)の配置及び研修計画、郷土教育等の目標や実施状況を掲載



C. 公立図書館取材

- ・公立図書館を訪問し、館長や司書から学校図書館の支援状況を取材
- ・視点は、学校図書館への貸出、配本、移動図書館等の支援、選書や配架のアドバイス、各種イベント等での連携を掲載



D. ボランティア取材

- ・ボランティアグループを訪問し、学校図書館での具体的な活動を取材
- ・視点は、POPや各種掲示物の作成や図書の修繕方法、PTAやOB/OGとの連携、他ボランティア団体との情報交流等を掲載

